

韓国 ソウル—釜山 2時間に

高速鉄道建設は韓国鉄道史100年の歴史の中で初の画期的事業となる。工事が進むソウル—釜山間(412キロ)の京釜高速鉄道は、04年4月に完成予定で、急増する交通需要に対処するために計画された。旅客輸送能力は現在の1日当たり18万人から同60万人まで格段にアップ。所要時間も現行の2分の1の2時間にまで短縮可能。料金は飛行機の70%程度だ。

韓国鉄道研究院企画調整室長、李容相氏(49)は「高速鉄道は地

方都市の活性化だけでなく、生活圏の拡大に寄与できる」と話す。観光事業の活性化も期待されており、現行の福岡—釜山間の高速船と結んだ韓日間の観光商品開発なども促進される、とみられる。

長期的には韓国—九州を結ぶ海底トンネルの完成も視野に入れながら、李室長は「高速鉄道計画は北東アジアの中心国家になるための韓国の戦略でもある」と大きな期待を寄せている。

(ソウル・田代俊一郎)